

再評価結果(平成19年度事業継続箇所)

担当課：沖縄総合事務局 道路建設課
担当課長名： 田中 衛

事業名	市道26号線		事業区分	地方道	事業主体	とみぐすく 豊見城市										
起終点	自： 沖縄県豊見城市字保栄茂 至： 沖縄県豊見城市字高嶺			延長	1.8 km											
事業概要	<p>市道26号線は、県道東風平豊見城線を起点とし、県道7号線に至る延長1.8 kmの道路である。 当該路線は、本市の東部市街地から県道東風平豊見城線を介し、新市街地となる「豊見城市地先開発事業」豊崎を結ぶ重要な道路となっている。 現道は、幅員が狭小で歩道が無いことから、道路を整備し交通の安全性・利便性・快適性の向上を図るものである。</p>															
H9年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H9年度用地着手	H10年度工事着手													
全体事業費	約 23 億円	事業進捗率	42%	供用済延長	0 km											
計画交通量	3,100台/日															
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 3.1	総費用 (残事業)/ (事業全体) 9.2 / 22億円 事業費 : 9.1 / 22億円 維持管理費 : 0.12 / 0.12億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 28 / 28億円 走行時間短縮便益 : 29 / 29億円 走行費用減少便益 : -0.12 / -0.12 億円 交通事故減少便益 : -0.52 / -0.52 億円	基準年 : 平成18年												
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ネットワークの構築(現道等における車輛のすれ違い困難区間を解消する) ・安全な生活環境の確保(歩道が無い区間に歩道が設置されることによる安全性の向上)他2項目に該当関係する地方公共団体等の意見 <p>平成18年12月地元説明会において、渡嘉敷自治会より早期整備の要望を受けている。</p>															
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>本路線が接続する幹線道路の県道東風平豊見城線も平成10年度に事業化され、平成12年度にはルートも確定された。また、「豊見城市地先開発事業」豊崎の埋め立て160haの完了や豊見城団地開発事業等の周辺整備も進捗している。</p>															
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>事業は、用地・物件補償を先行して実施し、42%の進捗率となっている。 用地買収・物件補償・改築工事で58%が残っており平成23年度の完了予定である。</p>															
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>事業当初は用地買収や物件補償が難航し時間を要していた。最近、地権者の理解も得られるようになってきており、用地交渉が順調に進展するようになってきている。今後、さらに事業を推進させ平成23年度に全線開通の予定である。</p>															
施設の構造や工法の変更等	<p>新県道東風平豊見城線に関連して、市道26号線の最適ルートを検討した。 また、道路幅員やルートの見直しにより、コスト縮減を図っている。</p>															
対応方針	事業継続															
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。															
事業概要図	<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>凡</td><td>例</td></tr> <tr><td>供用中</td><td>—————</td></tr> <tr><td>事業中</td><td>.....</td></tr> <tr><td>再評価対象事業</td><td>//////</td></tr> <tr><td>うち供用中</td><td>//////</td></tr> </table>						凡	例	供用中	—————	事業中	再評価対象事業	//////	うち供用中	//////
凡	例															
供用中	—————															
事業中															
再評価対象事業	//////															
うち供用中	//////															

*総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。